

霧島市国際交流協会



イベントレポートVol.42(令和5年度第2号)

8月
7日

ごきっしょう

中国国際交流員 吴屹捷さんが着任しました！

コロナ禍を経て、3年間不在だった中国国際交流員として吴さんが着任しました！8月の着任から3か月経ち、霧島市での中国語講座の開催や、下記のふるさと祭でもたくさんの市民の方と交流するなど、交流員の仕事にも慣れてきたようです。

以下、吴さんから会員の皆様へメッセージをいただきました！

大家(ダージャー)好(ハオ)(こんには)！中国出身の国際交流員吴屹捷(ゴキッシュウ)です。霧島市に赴任してから、あっという間に3か月以上が経ちました。休日には、周辺をよく訪れ、こちら的美食を食べて、日本の生活に徐々に慣れてきました。もちろん、国際交流員としての仕事を全力で行い、両国間の文化交流の促進に努めています。ふるさと祭でもたくさんの方とコミュニケーションをとることができました！今後のさまざまなイベントにも参加できることを楽しみにしています。



霧島ふるさと祭り

11月11日(土)12日(日)の両日、霧島ふるさと祭に参加しました。

今年は、韓国国際交流員の李さんが「韓国の伝統お面ハフェタルの塗り絵」、中国国際交流員の吴さんが「中国扇子の折り紙」、アメリカ国際交流員のショウさんが「アメリカ流の握手DAP(ダップ)」の体験を用意しました。

第一工科大学の中国人留学生や、鹿児島工業高等専門学校のマレーシア人留学生の方々にもお手伝いに来ていただき、参加者の方と工作体験をしながら母国の話で交流している姿も見られました。

ブース内には、留学生による母国紹介ポスターや海外派遣事業ポスターの展示も行い、海外旅行の話や海外派遣事業についての質問も多かったです。

2日間で120名の方に国際交流体験をしていただきました。来場者の中には毎年、協会の体験ブースを楽しみにしている方もいらっしゃり、とても嬉しかったです。コロナ禍を経て、今年はマスクのない笑顔もたくさん見る事ができました！



青少年海外派遣生帰国報告会を開催しました！



10月4日(水)、霧島市青少年海外派遣生帰国報告会を開催しました。会員の皆様や派遣生・派遣生家族ら約80名が集まり、国分シビックセンター多目的ホールで行いました。

コロナ禍を経て4年ぶりとなった令和5年度は、アメリカ10名、マレーシア（県青少年国際協力体験事業）1名、マレーシア10名、計21名の中・高校生を派遣しました。

帰国報告会では、派遣先での経験や感想をそれぞれ舞台上がって発表してもらいました。また発表後は、派遣生の体験話をそれぞれテーブルで会食しながら聞き、出席者の方々も派遣生と話が弾んでいました。

派遣生の帰国報告書をご覧になりたい方は、協会ホームページ／青少年海外派遣事業のページにて年度ごと全ての派遣生のレポートを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

↓アメリカ・ポーターオーチャードへの派遣生達



↑マレーシア・青少年国際協力体験事業

↓伝統衣装を着たマレーシアへの派遣生達



Memories

↓派遣前の壮行会



↑アメリカ・オークハーバーへの派遣生達



↑セントフランシス学院でのソーラン節披露



多文化共生推進事業



日本語サポーター養成講座



第1期終了!
第2期スタート!



↑9/9 講座の様子

7月から始まった「第1期日本語サポーター養成講座」が11月18日の第5回目をもって無事終了しました。全5回の講義のうち4回以上出席された14名には、霧島市国際交流協会ときりしまにほんごきょうしつが発行した修了証が授与されました。講座の受講生は、修了前から日本語サポーターで活動されている方も多く、学んだことを活かして今後ますますのご活躍を期待しています!

11月15日からは、第2期がスタートし、16名の方が受講を申し込まれました。今回は水曜日午前中開催の講義なので、お子様がいらっしゃる方の参加も多かったです。

きりしまにほんごきょうしつさんでは、カンパセーションナイトやその他イベントなど外国人と交流する場をたくさん提供しています。ご興味のある方はぜひ「きりしまにほんごきょうしつ公式LINE」に登録し、イベント案内情報をご確認ください。



↑11/18修了式の様子



↑11/15第2期1回目の講座

8月
19日

中華まん作り

霧島市在住の中国人イエンイエンさんをお招きして中華まん作りを開催し、24名の方が参加しました。イエンイエンさんは中華茶房というお店で中華まんを販売しており、今回は「肉まん」と「野菜まん」を作りました。

生地を作り、中の餡作り、生地を伸ばして餡を包む作業…皆さん、イエンイエンさんに教えてもらいながら、自分だけの中華まんを作ることができました!蒸したての中華まんとお茶も一緒にいただき楽しい時間となりました。



タイのガパオライス

11月
9日

霧島市在住のタイ人ケイトさんをお招きして、ガパオライス作りを開催し、16名の方が参加しました。ケイトさんはタイ古式マッサージセンサバイを経営されています。タイ料理についてもタイの大学で学ばれ、料理の腕もプロ並みです!

ガパオライスのガパオとはタイのバジルのことで、ケイトさんのご自宅の庭からとってきていただいたバジルを使い、本場の味に近づきました!手作りのデザートもいただき、見た目にも美しいガパオライスを作ることができ参加者の方も嬉しそうでした。



9月
9日

国際料理キッチン 韓国のファチェ



韓国のファチェ作りを開催し、10名の方に参加いただきました。ファチェはもともと韓国の伝統的な飲み物でしたが、時代とともに作り方が変わり、現在では日本のフルーツポンチに似たスイーツです。

調理の行程はとっても簡単！スイカを切って、フルーツ缶と混ぜて、牛乳・サイダー・砂糖を混ぜるだけ。レシピはありますが、スイカの切り方も砂糖の量などもそれぞれお好みでいいようです！グループごとにわいわいスイカを切ったり、材料を混ぜ合わせて、あっという間にファチェが出来上がりました。

その後は、ファチェを食べながら、李さんから韓国のおすすめスポット、韓国料理、夏の様子・過ごし方の紹介タイム！参加者の方は「コロナ禍で韓国旅行に行けてなかったけど、今日李さんの話を聞いて、韓国行きたーい！って気持ちが強くなりました」とおっしゃっていました。

8月
26日

国際交流 茶道体験



8月26日、今年度1回目の「国際交流 茶道体験」を開催しました。日本人5名と外国人2名が参加しました。参加された中国国際交流員の吴さんに話をうかがいました！

「中国人もお茶が大好きですが、今回の茶道体験は全く新しい体験でした！先生が抹茶のたて方を説明するのを聞いて、こんなにこだわりがあるんだなと思いました。美味しいお茶やお菓子も楽しむことができ、とても幸せな気分になりました」



国際交流パネル展

10月2日～9日の間、国分シビックセンターホールにて国際交流パネル展を行いました。海外派遣事業、協会イベント、国際交流員や第一工科大学・鹿児島高等技術専門学校の留学生による母国紹介など、合計21枚のポスターを展示しました。

コロナ禍で青少年海外派遣事業やイベントの開催が難しかった年もありましたが、ようやく多くの事業を通常通り開催できるようになり、協会の活動を知っていただく良い機会となりました。

展示期間中、多くの方に足を運んでいただき、立ち止まってご覧いただく様子を見る事ができました。ありがとうございました。



◆次回予告◆

おかげさまで、今回の会報ではたくさんのイベントを紹介することができました！次の会報では・・・

- ・ 国際交流 神社めぐり
 - ・ 中国春節文化体験
 - ・ マレーシア セントフランシス学院受入事業
 - ・ ナンコ大会
 - ・ 初午祭
 - ・ 龍馬ハネムーンウオーク
- などを紹介する予定です！お楽しみに♪

